

クローバーだより

令和年7年度 第2号(R7.9月発行)

高齢者なんでも相談室

流山市中部地域包括支援センター

高齢者なんでも相談室 地域包括支援センターって？

- ・介護保険サービスを利用するにはどうしたらよいの？
- ・家族が認知症になり、1人暮らしで心配。
- ・介護の悩みや不安を共有できる人がいない。等々、様々な相談ができる窓口です。

訪問相談・来所相談行っています。まずは電話でご連絡ください。



高齢者ふれあいの家 訪問しています！

中部圏域内にある高齢者ふれあいの家『パルス』『美田』を訪問させて頂き、包括の紹介をさせて頂きました。参加されている皆さんが楽しく体操や茶話会、盆踊りの練習など、元気に過ごされていました！

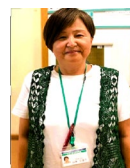
今後ご要望がありましたら、地域の声にこたえて参加させて頂きます！



新しいスタッフが着任しました！

東葛病院附属診療所居宅で働いていました。山本 三奈子（やまもと みなこ）と申します。これから中部地域のことを知り、地域の皆さんの声にこたえられるようがんばります。

よろしくお願いします。



コミュニティ会議を開催しました！

6/26中部圏域内の自治会役員、民生委員、NPO法人、高齢者ふれあいの家の方、行政、専門職の方と「複合的な課題を抱えた家族・日頃からの見守り、地域のネットワーク作りを考える」をテーマに意見交換を行いました。様々な地域の活動について相互理解が深まり、連携の輪も広がっています。



熱中症にご注意ください！

☒ 予防法ができているかをチェックしましょう

☐ エアコン・扇風機を上手に使用している

☐ 部屋の温湿度を測っている

☐ 部屋の風通しを良くしている

☐ 必要に応じてマスクをはずしている

☐ こまめに水分補給をしている

☐ シャワーやタオルで体を冷やす

☐ 暑い時は無理をしない

☐ 涼しい服装をしている
外出時には日傘・帽子

☐ 涼しい場所・施設を利用する

☐ 緊急時・困った時の連絡先を確認している

高齢になると特に

- ① 体の水分が不足しやすい。
- ② 暑さに対する感覚機能が低下する。
- ③ 暑さに対する体温の調節機能が低下する。

などの理由から、熱中症のリスクが高まります。

暑い日が続きます。体調にお気をつけてお過ごしください。



中部地域包括支援センターのあいことば

「元気で 生き生き 安心 流山」

1. 中部地域にお住いの高齢者の方とそのご家族の方の身近な相談窓口を目指しています。
2. 地域の民生委員や自治会の皆様、医療・福祉・行政機関などと協働し「地域ぐるみの支え合い」を目指してネットワークづくりを行っています。



お知らせ

えがおの談話室

毎月第4金曜日 13：30～

場所：若葉台3-131

包括スタッフがふれあいの家「えがお」におじゃまして体操や介護の相談を行っています **※ご連絡下さい。**

中部地域認知症の方の家族の会 「クローバーの会」

偶数月に初石公民館で開催しています

次回：10月9日（木）

音楽療法のひと時！楽しい企画です！

※要申し込み

「まちかど教室」

健康づくりや介護保険制度など、地域住民の方へ向けた簡単な講座を開催しています。

まずはご相談ください

認知症サポーターフォローアップ講座のお知らせ！

日時：令和8年1月31日（土）

10時～初石公民館で開催

※要申し込み

高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）とは、高齢者の総合相談窓口として、市内5か所に設置されています。保健師（又は看護師）、主任ケアマネジャー、社会福祉士がおり、医療や福祉・介護等の相談に対応しています。

高齢者なんでも相談室・流山市中部地域包括支援センター

電話：04-7150-2953 FAX：04-7158-8419